



西に四阿山を望む万座温泉

「写真展・旧鎌原村発掘Ⅱ期」の開催	P-1
令和3年度友の会総会の開催	P-1
鶴澤絵里氏赴任	P-2
令和4年度ガイド養成講座の開催	P-2
「高山蝶」の保存活動について	P-3
落ち葉清掃・アジサイ剪定作業	P-3
連載(7) 嬬恋村の文化財 抜け道の碑	P-4
お知らせ	P-4

編集 嬬恋郷土資料館友の会 2022年6月発行 第 35号

嬬恋郷土資料館 友の会だより

嬬恋郷土資料館「友の会」（宮崎光男会長）では、新型コロナウイルス感染流行の中、感染防止対策を注意深く行いながらの企画、活動を進めてまいりました。今回の「友の会だより」第35号ではイベントや活動の近況をダイジェストとしてご紹介いたします。

「写真展・旧鎌原村発掘Ⅱ期」の展示が行われました



郷土資料館では、昭和54年から平成3年にかけておこなわれた旧鎌原村発掘調査の記録写真の展示、「封印された天明三年」の扉を再び開く”発掘Ⅱ期写真展が、1月5日(水)から5月5日(木)の会期で開催されました。Ⅰ期展示に引き続き多くの来訪者がありました。嬬恋だより34号の「これは何でしょう？」の答えです。天明3年の畑跡(長野原町の中棚Ⅱ遺跡)から発掘された天明

泥流に埋もれていた里芋の石膏型です。種芋に茎のような細い葉柄が出ているだけ、生育不良であることがわかります。天明の飢饉は浅間山の大噴火が要因と考えられてきましたが、この里芋を見るかぎり、噴火以前からの飢饉を予想させるような冷涼な気候が読み取れます。



令和3年度嬬恋郷土資料館友の会総会が開かれました

令和4年3月29日(火)、嬬恋村地域交流センターにて14名の出席者のもと、令和3年度嬬恋郷土資料館友の会総会が開催されました。令和3年度友の会事業報告、会計収支決算及び令和4年度友の会事業計画、会計収支予算が承認されました。また、令和4・5年度新役員として黒岩秀二、坂岡士朗各副会長、小宮輝久書記の選任が承認されました。嬬恋郷土資料館友の会会則第9条(会費)の令和4年4月1日(金)からの改正が承認されました。(改正内容: 会費の納入が無い場合には、この会から脱退したものとみなす が追加されました。)

新しく鴫澤絵里氏が赴任されました



4月に滝沢の後任で嬭恋郷土資料館に配属となりました。

この2ヶ月、友の会やボランティアガイド会の皆さんに資料館のことを教えていただきながら楽しく過ごさせていただきました。資料館には、以前一度だけ入館したことはありますが、じっくりとお話を聞きながら見学をしたことはなく、新たに知ることはばかりで大変さとおもしろさを感じています。

今までコロナ禍により制限が多い状況でしたが、GW以降、来館者も多く団体のお客も増えてきました。嬭恋郷土資料館をより多くの方に楽しんでいただけるよう努めたいと思います。どうぞよろしくお願いたします！
(鴫澤絵里氏)

令和4年度郷土資料館ボランティアガイド養成講座が開かれました

令和4年4月16日(土) 嬭恋郷土資料館内ガイド養成講座

- ・嬭恋郷土資料館ヒストリー: 講師 黒岩秀二氏
- ・嬭恋郷土資料館内ガイドデモンストレーション及び館内展示品の解説: 講師 山口岩美氏

令和4年4月23日(土) 鎌原観音堂・周辺のガイド養成講座

- ・鎌原観音堂ガイドデモンストレーション: 講師 小宮輝久・宮崎光男氏
- ・浅間山別当延命寺解説

鎌原観音堂・延命寺の歴史、将来構想などの話を聞かせていただきました。

- ・ファーストエイド: 講師 坂岡士朗氏

外部からの参加者は残念ながらありませんでしたが、ボランティアガイド間で新たなガイド・安全管理知識等の共有を進めました。

令和4年5月14日(土) 午前午後2回 AED操作講習

- ・日本赤十字社群馬支部の御協力によりAEDの操作、取り扱いの実習を致しました。



高山蝶保存活動について

ミヤマシロチョウの成虫



メギの葉を食べる幼虫



ミヤマシロチョウの蛹



“高山蝶”とは、高山地帯にのみ生息するチョウを指し、嬭恋村には、群馬県指定天然記念物となっている5種類の高山蝶のうち、ミヤマシロチョウ、ミヤマモンキチョウ、ベニヒカゲの3種が生息しています。その中でもミヤマシロチョウは、浅間山、蓼科、美ヶ原、八ヶ岳、秩父山塊、南北アルプスと分布していたものが、各地で個体数の減少、または絶滅が確認されており、現在登山道周辺から観察できるのは浅間山周辺のみとなりました。

絶滅危惧・準絶滅危惧種としても扱われ、種の保存が危ぶまれる希少なチョウたちを保全するため、嬭恋村や群馬県、地域の人々が協力し、「嬭恋村高山蝶を守る会」として地道な活動を継続して実施しています。

【活動事例】

- ・密猟防止を目的とした高山蝶パトロール(6～8月頃)。
- ・ミヤマシロチョウ越冬巣調査(10月頃)。
- ・ミヤマシロチョウ幼虫の食樹であるメギへのタグ付け・GPSでの位置情報の落とし込みによる管理。
- ・食樹メギの生育環境保全を目的としたカラマツやズミの刈り払い。
- ・高山蝶観察会の実施やパンフレット類の頒布による啓発活動。など。

(嬭恋村高山蝶を守る会事務局 斎藤忠相氏記)

郷土資料館周辺の落ち葉清掃及びアジサイ剪定作業が行われました

令和4年4月25日(月)友の会会員のボランティア7名の参加により資料館周辺の落ち葉清掃作業が行われました。

令和4年5月26日(木)友の会会員のボランティア10名の参加により資料館前園地のアジサイ選定作業が行われました。伸び放題のアジサイの枝がすっきりとなりました。来年の花が楽しみです。



連載(7) 嬬恋村の文化財 抜道の碑 (村指定 重要文化財)



江戸時代の関所は、江戸への武器持込と、江戸在住を義務付けられた諸大名の妻や娘の江戸脱出を防ぐ意図で設けられました。関所の通行には代官や名主等によって発行される「通行手形」が必要で、これを持たない者や夜間の旅人は間道を利用するしかありませんでした。大笹関所にも「女道」と呼ばれた抜け道があり、大笹宿の東側手前から南方に浅間山麓を迂回して、長井河原に出て本通りに合流するものでしたが、広大な浅間山麓の一部を通り過ぎるため、地理に疎い旅人には危険かつ不安な道のりでもありました。こんな「女道」の傍らに1852年(嘉永5年)に建てられたとみられる一基の石碑が残っています。

「場ひばり 見聞てここに 休ふて 右を仏の道としるべし」
通行手形を持たない通行人(女性が多かった)に仁礼街道の大笹関所をさけて仏の道(信州の善光寺)に抜ける道を暗示する文学的な香り高い碑文となっています。この碑には「正道」と刻まれており、当時の大笹宿の俳人「佐藤正道」の才能あふれる一文と考えられています。

お知らせ

・令和4年8月5日(金)から19日(金)までの予定で「天明三年供養の仏像展」が郷土資料館特別展示室で開催されます。天明2年に新四国八十八霊場を西上州に開白した、高雲院宥弁が天明3年の浅間山噴火災害の慰霊と供養のために仏像を各寺に安置しました。噴火災害から240回忌を迎えた本年、供養の金銅仏と顕徳寺に伝わる宥弁像が集います。

・令和4年度村民教養講座が開催されます。

令和4年7月16日(土):「近世の災害発生と近代復興」ー浅間災害から240年・関東大震災から100年ー
元国立歴史博物館客員教授・立命館大学歴史都市防災研究所客員研究員 北原 糸子 先生

令和4年8月6日(土):「宥弁の事業を語り継ぐ」ー宥弁足跡調査を通してー
玉村町教育委員会文化財係長 中島 直樹 先生

令和4年10月8日(土):「鎌原観音堂石段発見の遺体を科学する」ー遺跡からのメッセージを現代整形外科医が語るー

榛名荘病院院長 笛木 敬介 先生

いずれの講座も開催場所は嬬恋会館3階、時間は午後1時30分より3時までとなっています。定員は50名先着順、村内・関係者は6月24日(金)から、村外一般者は7月1日(金)から嬬恋郷土資料館で受付をいたします。

・令和4年10月から11月にかけて、令和4年度の鎌原村発掘作業が行われます。6月25日(土)には鎌原村在住の方々をはじめとする関係者向けに発掘作業概要の説明会が開かれます。

・嬬恋郷土資料館は令和4年9月1日から増築工事のために休館、再開は令和5年4月を予定いたしております。